

# 農 研 速 報

麦の生育状況(3月4日現在)

地域名	麦種(品種)	生育ステージ	対平年遅速	生育(作柄・品質)概況等	備 考
水 戸	11月5日播種 小麦 (さとのそら)	幼穂形成開始期	15日遅い	気象概況:2月第4半旬~3月第1半旬(過去5年間の平年値との比較) 上記期間の平均気温は5.4℃で、平年(6.5℃)に比べてかなり低かった。降水量は22mmで、平年(50mm)より少なかった。日照時間は121時間で、平年(122時間)並だった。	【留意事項】 ・「対平年遅速」は主稈長から予測される茎立期を基に表記した。 ・「節間伸長開始期」は、80%以上の茎の節間が5mmに達した日。  【今後の管理】 ・土が乾いているときに麦踏みを行う。麦踏みは、茎立期(主稈長が2cmになる時期)まで可能である。 ・適期に効果的な追肥ができるよう、資材等の準備を始める。 ①地力が中庸な圃場では生育量が過剰でなければ茎立期に追肥する。 ②低タンパク傾向の圃場では、出穂前15日頃に追肥する。 ③倒伏の恐れのある圃場や高タンパク傾向の圃場では、追肥をしない。
	六条大麦 (カシマムギ)	幼穂形成期	17日遅い	生育状況(過去5年間の平均値との比較): (11月5日播種) ●さとのそら 主稈葉数は少なく、草丈はかなり短く、茎数はかなり多かった。 ●カシマムギ 主稈葉数は少なく、草丈はかなり短く、茎数はかなり多かった。	
	(カシマゴール)	節間伸長開始期	19日遅い	●カシマゴール 主稈葉数はかなり少なく、草丈はかなり短く、茎数はやや多かった。	
	11月19日播種 小麦 (さとのそら)	幼穂形成開始期	5日遅い	(11月19日播種) ●さとのそら 主稈葉数は少なく、草丈はかなり短く、茎数は平年並だった。 ◇主稈長から予測した茎立期 (11月5日播種)さとのそら:4/4頃、カシマムギ:3/29頃、カシマゴール:3/23頃 (11月19日播種)さとのそら:4/4頃	

表 畑における生育(水戸市 茨城県農総セ農研 作物研究室)

播種期 (月・日)	麦種	品種名	主稈葉数			草 丈			茎 数			葉色(SPAD値)		
			本 年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)	本 年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本 年 (%)	前年比 (%)	平年比 (%)
11.5	小麦	さとのそら	7.2	-0.3	-0.6	10.5	61	59	2,017	118	131	49.0	101	103
		カシマムギ	6.8	-0.4	-0.7	10.9	57	58	1,378	117	127	53.7	101	99
		カシマゴール	7.4	-1.0	-0.9	12.4	64	59	1,387	92	109	44.0	102	104
11.19	小麦	さとのそら	5.5	-0.6	-0.5	7.2	63	59	977	94	102	50.0	110	108

播種期 (月・日)	麦種	品種名	主 稈 長			主稈幼穂長			主稈長から予測した茎立期(月・日)			平年値
			本 年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)	本 年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)	今後の気温の推移(平年比)			
									-0.5℃	0℃	+0.5℃	
11.5	小麦	さとのそら	3.3	-4.4	-5.6	0.8	-0.8	-1.1	4.05	4.04	4.02	3.20
		カシマムギ	4.4	-6.5	-9.3	1.9	-2.2	-2.6	3.30	3.29	3.28	3.12
		カシマゴール	5.5	-12.8	-14.1	2.4	-3.0	-3.1	3.25	3.24	3.23	3.05
11.19	小麦	さとのそら	3.2	-0.8	-1.3	0.6	-0.3	-0.4	4.06	4.04	4.03	3.30

耕種概要 1)圃場(来歴):表層腐植質黒ボク土(前作休耕畑)

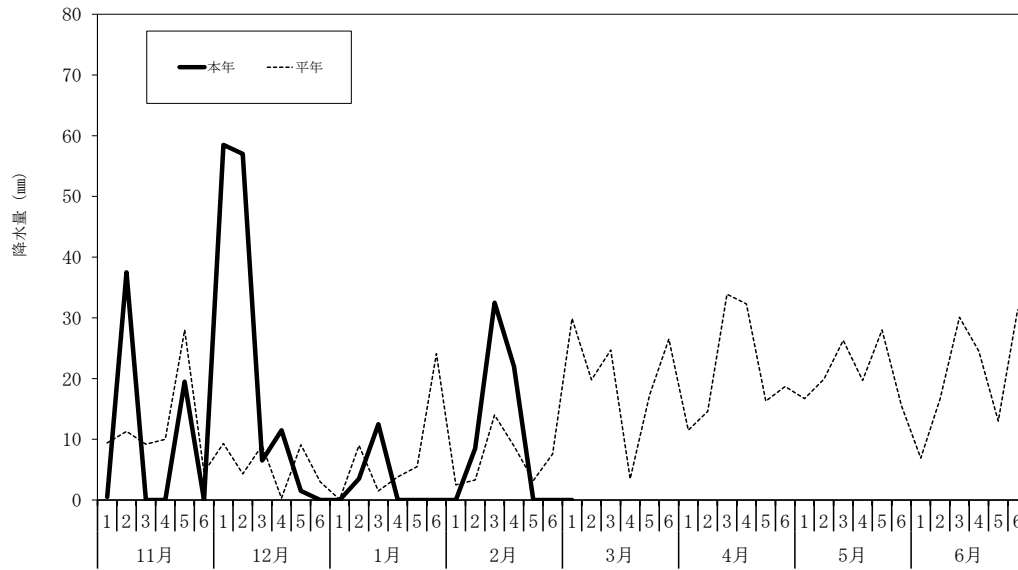
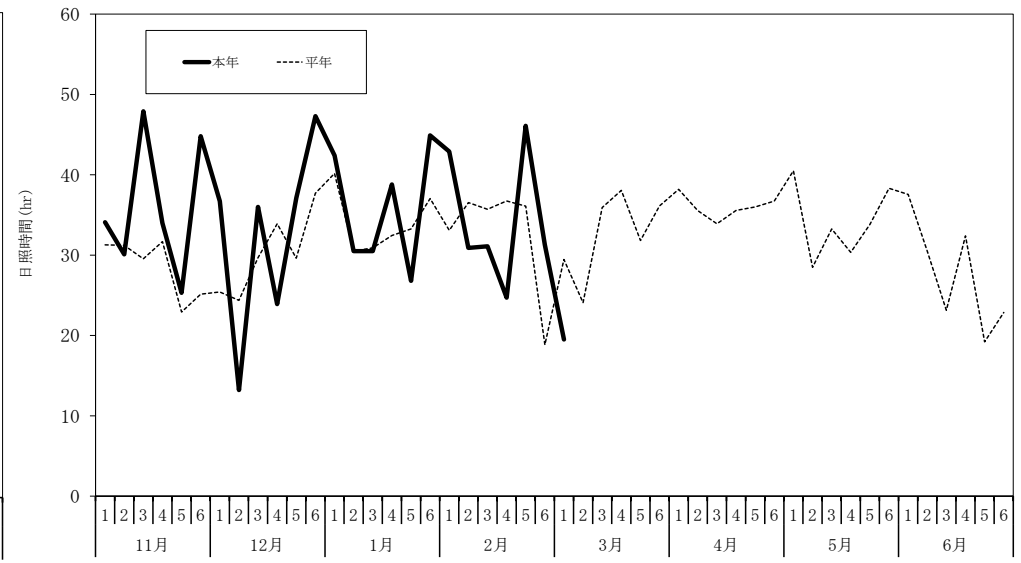
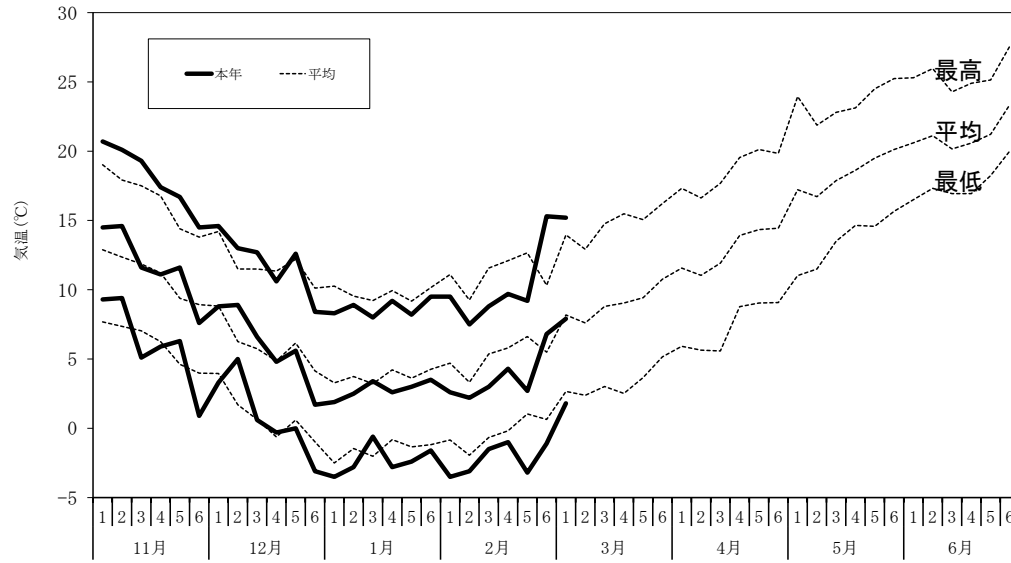
2)播種量:0.8kg/a

3)施肥量:N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=0.6-0.6-0.6kg/a

4)播種様式:畦幅30cm、シーダーテープ播種

5)平年値:平成28年~令和2年播種の結果の平均。

6)麦踏み:12月22日、1月18日、2月8日、3月1日



麦(令和3年播種)における半旬別気象経過図  
(水戸地方気象台データを参考に作成。平年値は直近5年間の平均値。)



さとのそら 11月5日播種 (3月4日撮影)



カシムムギ 11月5日播種 (3月4日撮影)



カシマゴール 11月5日播種 (3月4日撮影)



さとのそら 11月19日播種 (3月4日撮影)

## 気象概況および生育状況における表現について

平年値(過去5年間の平均値)との違いの程度を、「低い(少ない)」、「平年並」、「高い(多い)」等の階級区分で表しています。各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めています。さらに、「低い(少ない)」、「高い(多い)」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

